資料 2-1

アンケート調査　基礎集計結果概要について

1 調査概要

	区民アンケート調査	来訪者アンケート調査
対象	満 16 歳以上の区内在住者	・満 16 歳以上の区外居住者（東京都、神奈川県、埼玉県） ・自転車、自動車、タクシー、バス、鉄道のいずれかの交通手段を利用して、月 1 回以上、板橋区を来訪する者
期間	平成 30 年 8 月 29 日(水)～9 月 14 日(金)	平成 30 年 10 月 3 日(水)～10 月 9 日(火)
方法	郵送配布、郵送回収	WEB アンケート
配布数	4,000 票	―
回収数	1,310 票 (回収率:32.8%)	1,000 票 ※各交通手段で 100 票以上確保

2 調査結果と今後の分析方針（案）

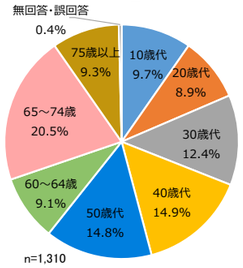
	調査結果	今後の分析方針（案）
(1) 交通手段別の課題	・徒歩について、区民・来訪者ともに「歩道の幅」の改善ニーズが高い ・自転車について、区民は「道路の幅」の改善ニーズが高い ・自動車について、区民は「車道の幅」、来訪者は「道路の混雑状況」の改善ニーズが高い ・タクシーについて、区民は、「自宅近くでのタクシーのつかまえやすさ」の改善ニーズが高い ・バスについて、来訪者は、「サービスが改善された場合は利用したい」と回答した人が約 3 割と多い ・区民は、バス利用サービスの中で「バス停環境」に不満を感じている傾向 ・鉄道について、「駅前広場がない」、「バス・タクシーと鉄道との乗換えがしづらい」等の理由で、駅が不便だと考える人が多い	・子育て世代や高齢者の課題を把握するため、年齢・子育ての有無別に分析 ・課題に対して対策が必要な地域を特定するために、地域別に分析
(2) 今後、区に求める取り組み	・区民は、「子育て世代・高齢者等の移動の安全・安心の向上」「災害に強い交通環境の実現」を求める声が多い ・来訪者は、「道路網の整備の推進」「にぎわいや交流を支える広場の充実」を求める声が多い	・子育て世代や高齢者の課題を把握するため、年齢・子育ての有無別に分析
(3) 来訪者の板橋区へのニーズ	・来訪者のうち、「板橋区の交通が便利になれば、もっと訪れたい」と回答した人が全体の約 9 割 ・シェアサイクルを「利用していないが今後利用したい」という回答は約 6 割と多い	・来訪意向の高い年代、居住地を分析 ・来訪ニーズの高い地域を分析
(4) 路上駐車で不便と感じる場所	・区民・来訪者ともに「駅周辺」での路上駐車に不便を感じている人が多い	・路上駐車対策や荷捌き対策を強化すべき具体的な地点を分析

3.調査結果（詳細）

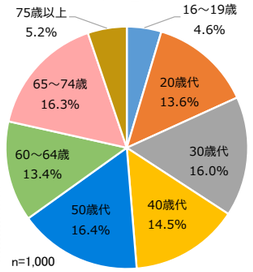
(0) 基本属性

区民

【年齢】

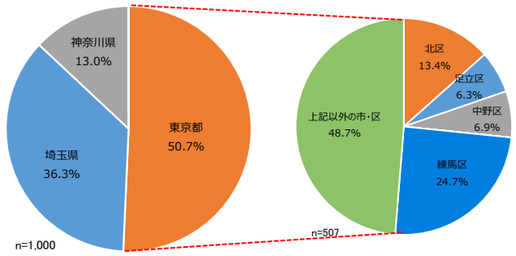


【年齢】



来訪者

【居住地】

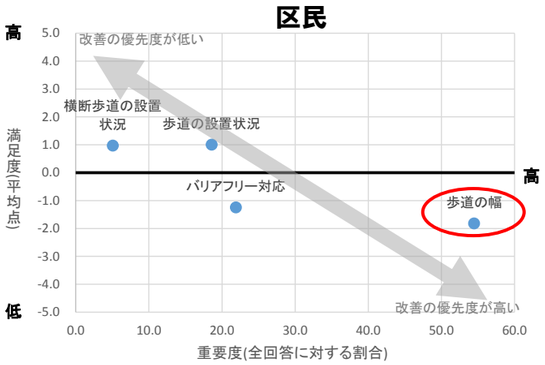


(1) 交通手段別の課題

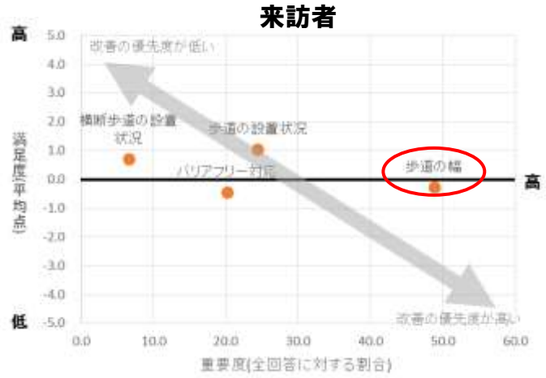
1) 歩行環境

- 区民・来訪者ともに「歩道の幅」の改善ニーズが高い
- 区民・来訪者ともに、バリアフリー対応に不満を感じている

区民



来訪者



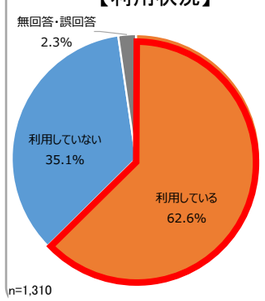
※本資料において、満足度と重要度の関係については、下記の通り算出
・満足度は、「満足=10 点」「やや満足=5 点」「普通=0 点」「やや不満=−5 点」「不満=−10 点」に換算し、項目毎の平均点を算出
・重要度は、全回答のうち各項目の占める割合を算出
・満足度・重要度ともに「わからない」「無回答・誤回答」は除く

2) 自転車の利用環境

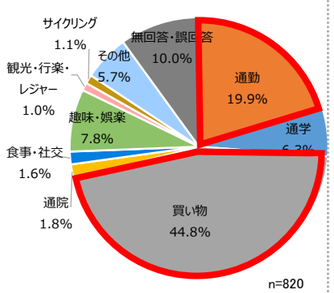
- 自転車の利用割合は、区民が約 6 割に対し、来訪者は約 3 割と低い
- 自転車の利用目的は、区民・来訪者ともに買い物目的が最も多く、次いで通勤・通学目的が多い
- 区民は、「道路の幅」の改善ニーズが高い
- また、来訪者も「道路の幅」を重要視している
- 区民は、他の項目と比較して「駅周辺の駐輪場の利用可能台数」に不満を感じている傾向
- 区民は、総合的な満足度を聞いた交通手段(徒歩、自転車、自動車、タクシー、バス)の中で、自転車の満足度が最も低い

区民

【利用状況】

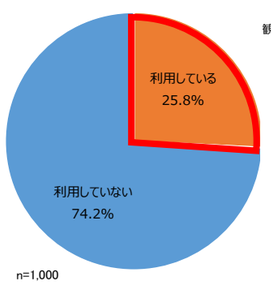


【利用目的】

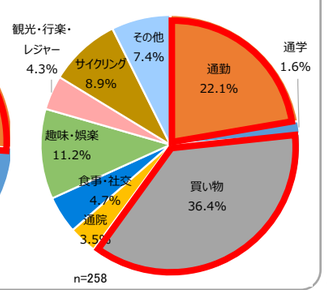


来訪者

【利用状況】

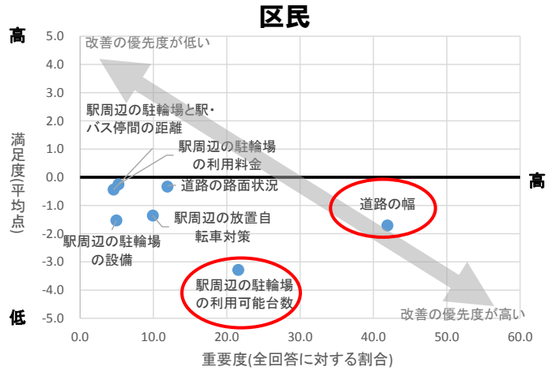


【利用目的】

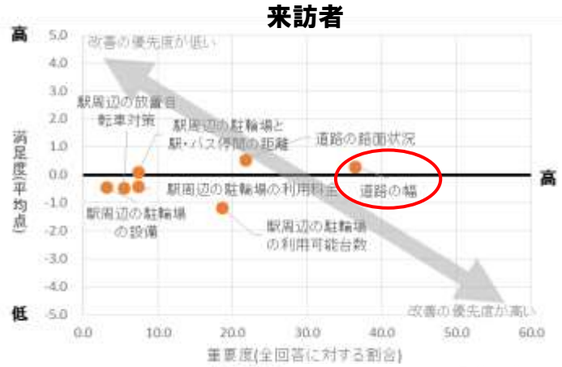


【満足度と重要度の関係】

区民

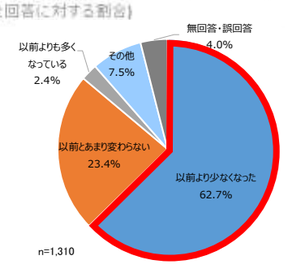


来訪者



【放置自転車対策の効果(区民アンケートより)】

- 放置自転車の数が「以前より少なくなった」と回答した人は全体の約 6 割

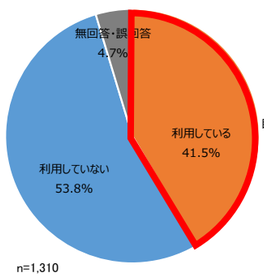


3) 自動車の利用環境

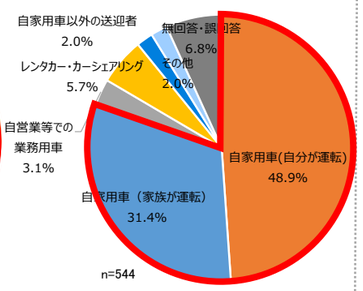
- 自動車の利用割合は区民・来訪者ともに約 4 割であり、自家用車利用が多い
- 区民は、「車道の幅」の満足度が低く、かつ重要度が高く、改善のニーズが高い
- 来訪者は、「道路の混雑状況」の改善ニーズが高い
- 来訪者は、総合的な満足度を聞いた交通手段の中で、自動車の満足度が最も低い

区民

【利用状況】

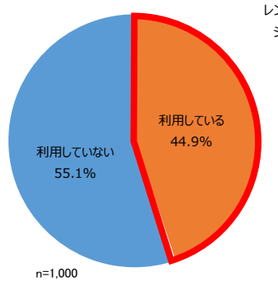


【利用する自動車の種類】

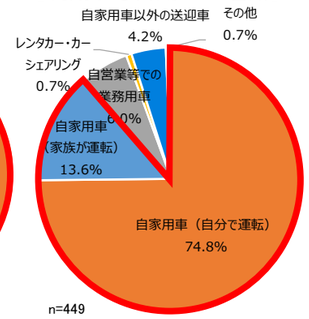


来訪者

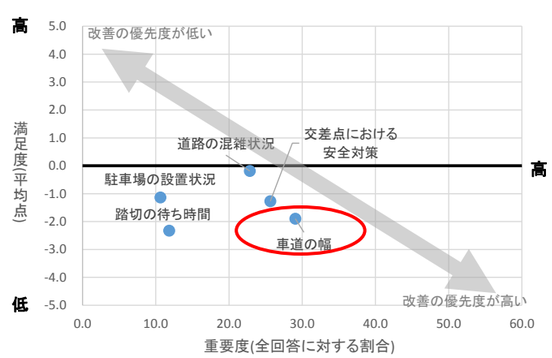
【利用状況】

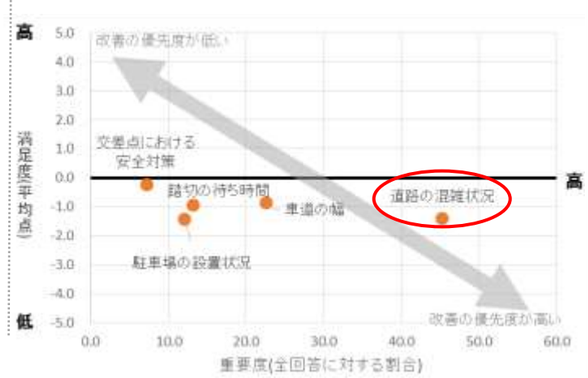


【利用する自動車の種類】



【満足度と重要度の関係】



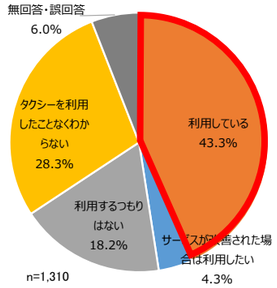


4) タクシーの利用環境

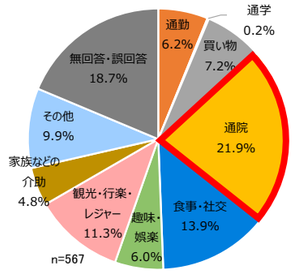
- タクシーの利用割合は、区民が約 4 割に対し、来訪者が約 1 割と低いが、「サービスが改善された場合は利用したい」と回答した人が約 3 割と多い
- タクシーの利用目的は、区民は通院目的、来訪者は通勤・通学目的が最も多い
- 区民は、「自宅近くでのタクシーのつかまえやすさ」の改善ニーズが高い
- 来訪者も、タクシーのつかまえやすさを重要視している

区民

【利用状況】

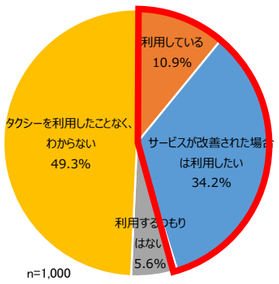


【利用目的】

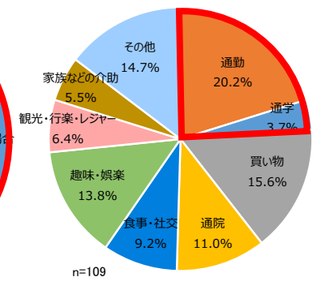


来訪者

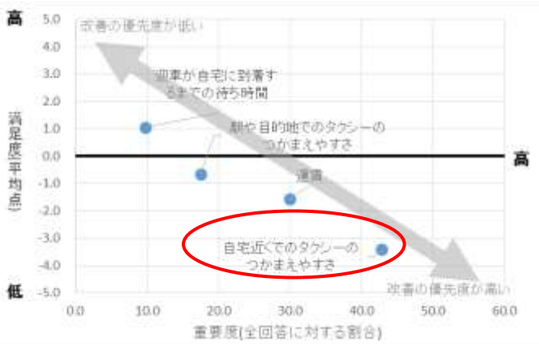
【利用状況】

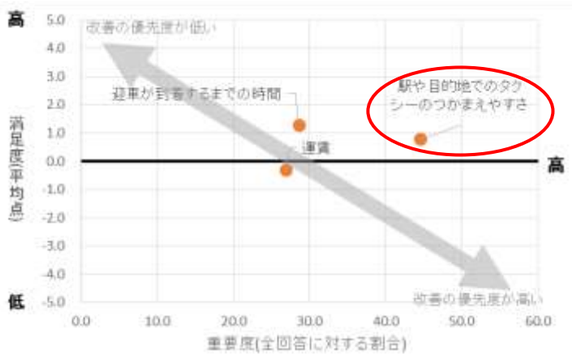


【利用目的】



【満足度と重要度の関係】



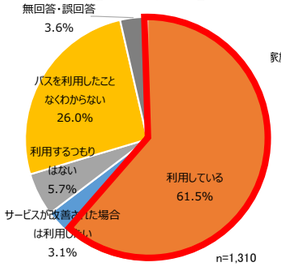


5) バス利用サービス

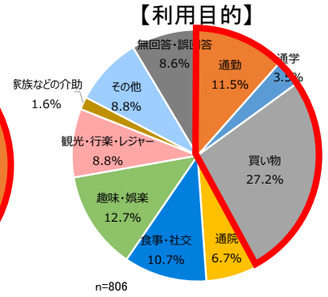
- バスの利用割合は、区民が約 6 割に対し、来訪者は約 3 割と低いが、「サービスが改善された場合は利用したい」と回答した人が約 3 割と多い
- バスの利用目的は、区民・来訪者ともに買い物目的や通勤・通学目的が多い
- 区民・来訪者ともに、総合的な満足度を聞いた交通手段の中で、バスの満足度が最も高い
- 区民は、他の項目と比較して「バス停環境」に不満を感じている傾向

区民

【利用状況】

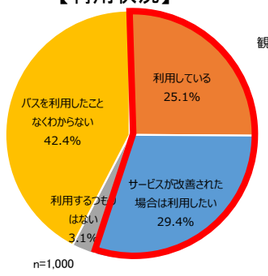


【利用目的】

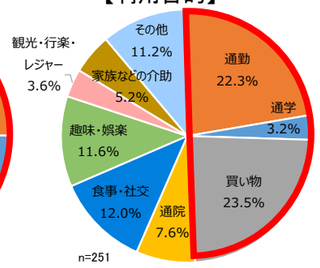


来訪者

【利用状況】

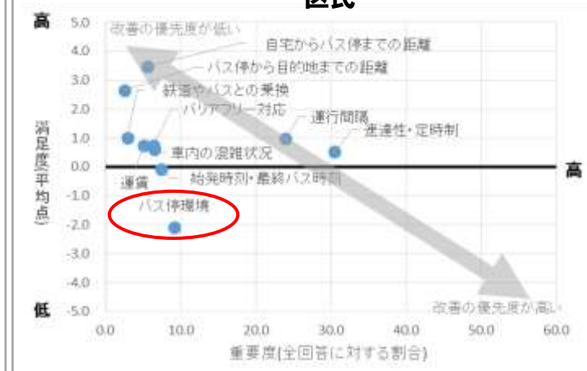


【利用目的】

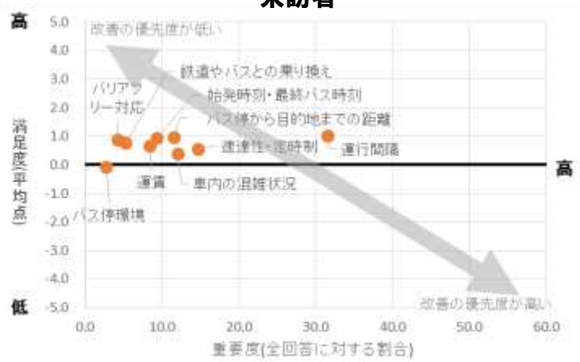


【満足度と重要度の関係】

区民



来訪者

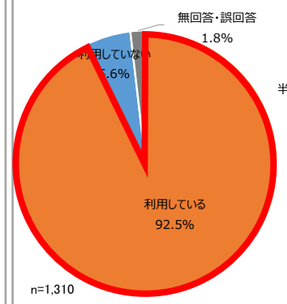


6) 鉄道サービス(駅の利便性)

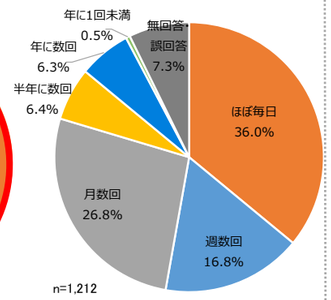
- 鉄道の利用割合は、区民が約 9 割に対し、来訪者は約 6 割と低い
- 区民は、東武東上線では「大山駅」「東武練馬駅」、東京メトロでは「小竹向原駅」、都営三田線では「志村三丁目駅」が不便だと感じている
- 来訪者は、JR では「板橋駅」、東武東上線では「大山駅」「成増駅」が不便だと感じている
- 不便な理由としては、区民・来訪者ともに、駅前広場がない、バス停やタクシーと鉄道との乗換えの不便さを指摘
- 区民は、駅周辺施設がバリアフリー化されていないことに不便を感じている人も多い

区民

【利用状況】

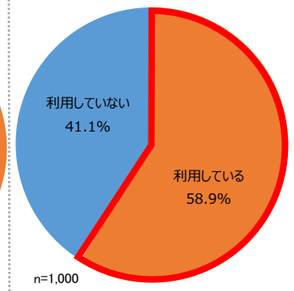


【利用頻度】

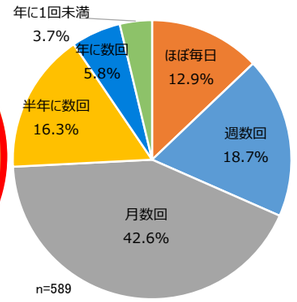


来訪者

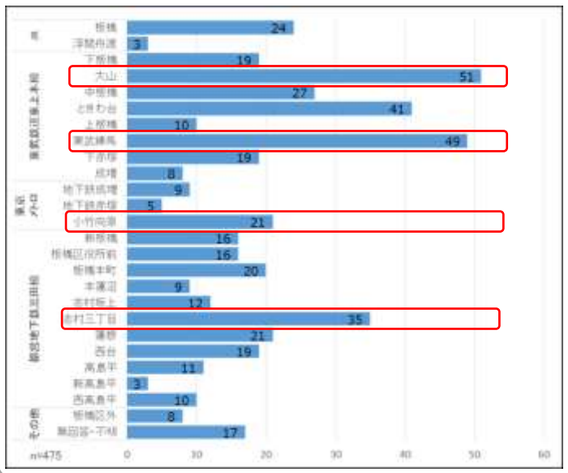
【利用状況】

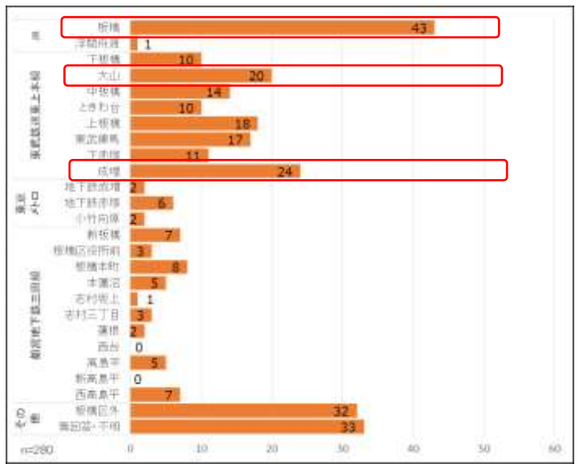


【利用頻度】



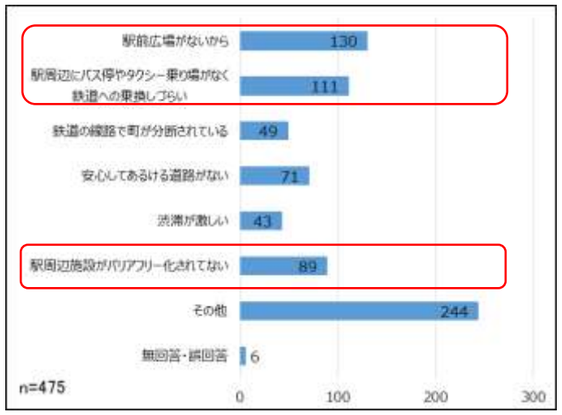
【不便だと感じる駅】※複数回答可・任意回答



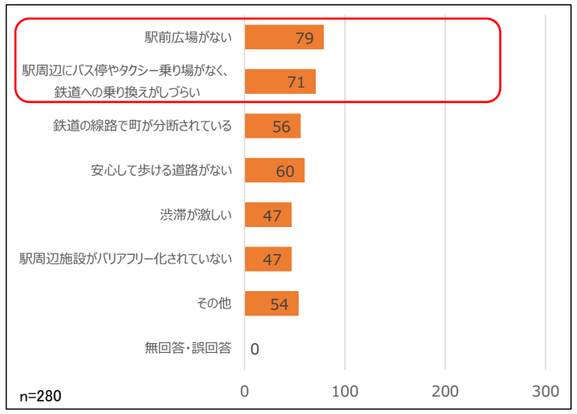


【不便だと感じる理由】 ※複数回答可・任意回答

区民



来訪者

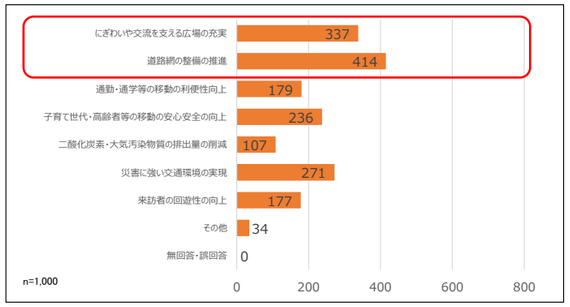


(2) 今後、区に求める取り組み ※複数回答、3 つまで選択可

- 区民は、「子育て世代・高齢者等の移動の安全・安心の向上」「災害に強い交通環境の実現」を求める声が多い
- 来訪者は、「道路網の整備の推進」「にぎわいや交流を支える広場の充実」を求める声が多い

区民

来訪者



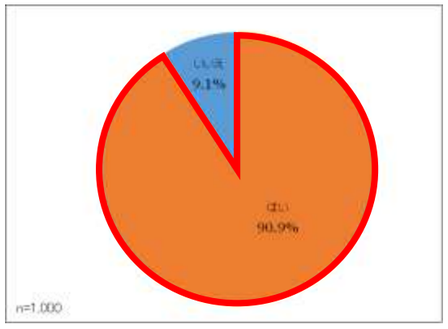
(3) 来訪者の板橋区への来訪ニーズ

1) 現状の来訪目的(居住地との比較) ※複数回答可

- 居住地と比べて「魅力的な飲食店・商店街があるから」板橋区に来訪したという回答が最も多い

2) 板橋区への来訪意向(交通改善した場合)

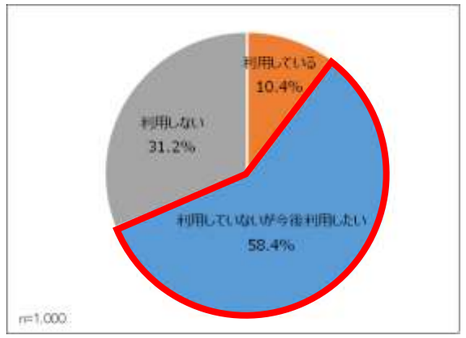
- 「板橋区の交通が便利になれば、もっと訪れたい」と回答した人が全体の約 9 割



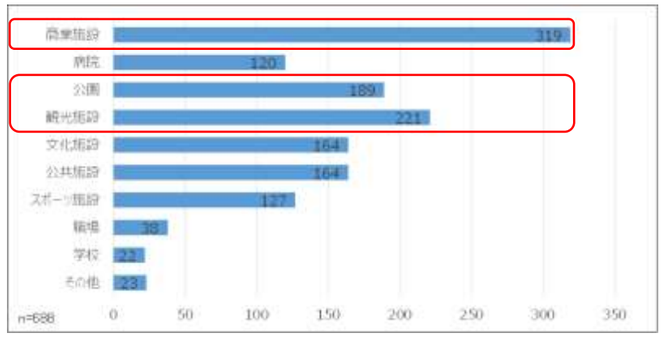
3) シェアサイクルの利用意向

- シェアサイクルを「利用していないが今後利用したい」という回答は約 6 割と多く、潜在的な需要が高い
- シェアサイクルで来訪したい場所としては、「商業施設」「観光施設」「公園」が多い

【シェアサイクルの利用状況・利用意向】



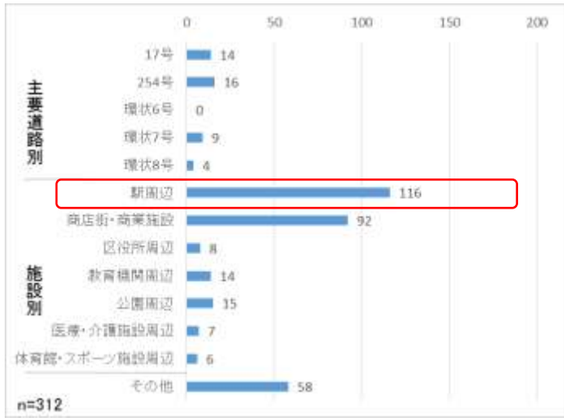
【シェアサイクルで来訪したい居場所】※複数回答可



(4) 路上駐車で不便と感じる場所 ※複数回答可・任意回答

- 区民・来訪者ともに「駅周辺」での路上駐車に不便を感じている人が多い

区民



来訪者